

活動報告

団体名	熊本県鍼灸マッサージ師会
活動名	仮設住宅で生活される方々の健康維持増進、疾病・介護予防のための支援活動
活動期間	2018年4月～2019年3月
活動の成果	<p>被災後、自宅を追われ避難所生活から仮設住宅へと生活の場を移さなければならなかった方々で、神経系・運動器の不調からくる生活機能病や生活習慣病、生活不活発による体調不安がある方に対して、少しでも心身の状況が回復するように、鍼灸マッサージを主とした健康支援活動とともに介護予防体操や健康講和などのサロン活動を行いました。</p> <p>毎週曜日と時間を決めて、鍼灸マッサージ施術および筋力維持強化の体操を行い、その必要性を説明するとともに、より一層の健康意識を高めるために東洋医学健康講和や家庭で手軽にできるツボ療法などの座学を実施しました。</p> <p>鍼灸マッサージの施術に関しては、利用者一人一人の施術記録を付け、個々が持つ心身の問題点を担当者全員で共有し、定期的にしっかり活動したことにより、多くの利用者の方々に症状の緩解と安定がみられ、活動に対して大きな支持を得ることができました。</p> <p>平成29年年2月からの仮設住宅での利用者は151日間で延べ1,787名になりました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>皆様の浄財によって3年間の活動ができました。</p> <p>鍼灸マッサージ師が、緊急災害発災直後の急性期から亜急性期、そして慢性期に至るまで、その活動する時期によって役割は変わってきても、資格を以て活躍する場を見いだせた事は非常に有意義な事でした。</p> <p>また、拠点避難所(H28.5.9～9.15)と仮設住宅(H29.2.15～H31.3.31)での活動は、毎週曜日と時間を決め、定期的におこなうことで心身の問題を抱え、鍼灸マッサージ施術を希望する被災者の方々に責任を持って対応することができ、それが良い結果に繋がったことは貴重な経験になりました。</p> <p>現在は、生活機能病や健康保持増進、疾病・介護予防のために鍼灸マッサージ施術とともに高齢者には必要な介護予防体操や脳トレリズム体操などの軽い運動や東洋医学的健康講和・ツボ講座などの座学も実施しています。</p> <p>今後も仮設住宅の多くの皆様が地域に戻られた後も健康で過ごされるよう、健康支援活動を継続する予定です。</p>

(活動のようす)



